

事業番号	02 06 02	事業改善シート(2年度実施事業分)	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課	
		実施期間	S42 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	観光消費額、健康寿命					
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保			5-1 多様性を尊重する共生社会づくり		
	3-9 本州中央部広域交流圏の形成					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○県民の移動と地域間交流を支える鉄道は、県内交通の幹線として位置付けられているが、沿線人口の減少・少子高齢化などの影響による輸送人員の減少に加え、施設・設備の老朽化への対応、駅舎のバリアフリー化など新たな要請への対応が求められるなど、事業者の経営環境は厳しさを増しており、事業者の努力のみで、これら課題に対応しながら県内鉄道路線を維持することは困難となっている。 ○北陸新幹線は1997年10月に高崎・長野間が、2015年3月に長野・金沢間が開業した。また、2012年に着工された金沢・敦賀間については、2022年度末開業を目指して整備が進められている。残る敦賀・大阪間については、2017年3月に全区間のルートが決定されたところであり、引き続き、金沢以西の全線を早期に整備する必要がある。				2年度 要求額	499,239 千円							
	○北陸新幹線は1997年10月に高崎・長野間が、2015年3月に長野・金沢間が開業した。また、2012年に着工された金沢・敦賀間については、2022年度末開業を目指して整備が進められている。残る敦賀・大阪間については、2017年3月に全区間のルートが決定されたところであり、引き続き、金沢以西の全線を早期に整備する必要がある。				職員数	3.00 人							
目指す姿	○鉄道の利用促進や活性化への取組に参画するとともに、鉄道事業者が行う安全性向上対策や駅舎のバリアフリー化のための設備整備等に対する支援を通じて、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道の利用促進、安全性・サービス向上を図り、鉄道の維持と住民の足を守る。 ○北陸新幹線を大阪までフル規格で早期に整備し、県民の利便性向上を図る。  (主な実施内容:鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助、鉄道駅における段差の解消のために必要なエレベーター等の設置に対する補助、北陸新幹線建設促進に係る要請活動)												
事業 コスト	区分(単位:千円)	30年度	元年度	2要求	2予算案	指標及びその達成状況							
	予算額	前年度繰越	52,185	14,664			No	成果指標	30年度末	元年度末(見込)	2年度		
		当初予算	179,612	434,271	499,239						目標値	成果	達成状況
		補正予算	-26,764										
		合計(A)	205,033	448,935	499,239	0							
	Aの財源	一般財源	156,983	165,985	181,239		①	県内鉄道キロの維持	788.5km	788.5km	788.5km		
		県債	48,000	280,000	318,000		②	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	0件	0件	0件		
		国庫支出金					③	エレベーター等設置駅数	22駅	23駅	25駅		
		その他	50	2,950	0	0							
	決算額(B)	142,998											
概算人件費	職員数(人)	3.00	3.00	3.00									
	概算人件費(C)	24,306	24,306	24,306	0								
	概算事業費(B(A)+C)	167,304	473,241	523,545	0								
成果指標設定理由	①・②県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため、鉄道キロの維持と重大事故の発生数を成果指標に設定 ③2020年度までに1日の利用者3,000人以上の駅についてはバリアフリー設備を設置するという国の基本方針を達成するため、エレベーター等の設置駅数を成果指標に設定												

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点
--------------

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	2年度 実施内容(予定)	職員数(人)	元年度(当初)	2年度	
					(要求)	(予算案)
1	鉄道振興対策事業費	①地域鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助金(しなの鉄道(株)が行う車両更新費用等に対する補助等) ②鉄道事業者が行う鉄道駅におけるエレベーター等の設置に対する補助金 ③在来線の活性化に向けて沿線市町村等で組織された期成同盟会の負担金	1.50	432,471	497,439	
2	北陸新幹線建設促進費	北陸新幹線建設促進に向けて沿線都府県等で組織された期成同盟会の負担金	1.50	1,800	1,800	
合計			3.00	434,271	499,239	0

事業改善シート附表

■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検

事業番号	事業名	鉄道振興対策事業費				部局	企画振興部		課・室	交通政策課		
細事業No	細事業名	項目	実施方法	2年度 実施内容（予定）	2年度 実施内容（実績）	2年度 実施状況	30年度	元年度	2年度			
							当初(千円)	当初(千円)	要求(千円)	当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)
1	鉄道振興対策事業費	地域鉄道安全性向上事業費補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を行う 【補助率：国1/3、県1/6、市町村1/6】			171,129	398,671	470,846			
1	鉄道振興対策事業費	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅における段差解消のため、必要なエレベーター等の設置に対して補助を行う 【補助率：国1/3、県1/6、市町村1/6】			6,333	30,000	25,743			
1	鉄道振興対策事業費	大系線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動			150	150	150			
1	鉄道振興対策事業費	大系線活性化協議会負担金	負担金	・利用状況の厳しい大系線JR西日本区間における利用促進活動				500	500			
1	鉄道振興対策事業費	中央東線高速化促進広域期成同盟会負担金	負担金	・要請活動 ・啓発、広報、利用促進活動			200	200	200			
1	鉄道振興対策事業費	エコ通勤促進モデル事業負担金	負担金	公共交通機関の利用促進に取り組むための事業費				2,950				
2	北陸新幹線建設促進費	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	・建設促進に係る国等へ要請活動（春、秋） ・建設促進に関する調査研究及び広報等			1,800	1,800	1,800			
<b>合 計</b>							179,612	434,271	499,239	0	0	0